

令和6年度 情報通信月間推進協議会会長表彰

○ 志田林三郎賞

個人 1件

(敬称略)

氏名	功績の概要
おおた かおる 太田 香 室蘭工業大学 教授 コンピュータ科学センター長	ミリ波を活用するための、メタサーフェス反射板を用いた無線通信環境の最適化等に関する研究を行い、5GやBeyond 5Gにおける、超高速無線通信の実現に必要なミリ波の有効活用に関して優れた研究成果を挙げ、情報通信の発展に多大な貢献をした。

○ 情報通信功績賞

個人 4件

(敬称略)

氏名	功績の概要
あたらし ひろゆき 新 博行 株式会社NTTドコモ 電波企画室 無線標準化推進担当部長	国際電気通信連合 無線通信部門 第五研究委員会の副議長を2015年から8年間にわたり務められた他、2023年世界無線通信会議では第四委員会の議長を務められるなど、携帯電話技術をはじめ地上系無線通信に関する国際標準化活動において多大な貢献をした。
えま ありさ 江間 有沙 東京大学 国際高等研究所東京カレッジ 准教授	インターネット・ガバナンス・フォーラム2023京都会合におけるAI特別セッションを含め、人工知能の国際的なガバナンスの議論に精力的に参画し、広島AIプロセスの成功を含め安心・安全で信頼できる人工知能の実現に向けて多大な貢献をした。
そのだ みちお 園田 道夫 国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバートレーニングセンター センター長	SECCON実行委員会事務局長やセキュリティ・キャンプ実行委員を歴任し、現在は情報通信研究機構ナショナルサイバートレーニングセンター センター長として、多数のセキュリティオペレーターやセキュリティイノベーターを育成するなど、サイバーセキュリティ人的基盤の確立に多大な貢献をした。
やすだ たかみ 安田 孝美 名古屋大学大学院 情報学研究科 教授	東海地域において、産学官により構成されていた「安心・安全公共コモンズ東海実証実験協議会」の会長を務め、住民の安心・安全に役立つ情報基盤の構築に向けた実証実験を主体的に実施し、Lアラートの実現につながる検討や実証実験に重要な役割を果たされるなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。